

岡山県の 土地改良



岡山県土地改良事業団体連合会

2012 FEBRUARY
VOL. 557

平成 24 年度農林水産予算の概算決定

農業農村整備事業関係（復旧・復興分を除き）2,129 億円 対前年度比 100%

政府は昨年12月24日、平成24年度予算の概算について閣議決定した。農林水産予算概算決定総額は復旧・復興対策分を除き2兆1,727億円で対前年比95.7%。うち公共事業費は復旧・復興対策分を除き4,896億円で同94.3%。農業農村整備事業概算決定額は復旧・復興対策分を除き2,129億円で同100%となった。

その他、1. 持続可能な力強い農業の実現 2. 六次産業化・成長産業化、流通効率化 3. エネルギー生産への農山漁村資源の活用促進 4. 森林・林業再生 5. 水産業再生 6. 震災に強い農林水産インフラの構築 7. 原子力災害対策の取組の7つの戦略が重点事項とされた。

農業農村整備事業の主要事項の概要は次のとおり。

平成 24 年度 農林水産関係予算概算決定の骨子

1. 総括表

(単位：億円)

区 分	23 年度 予算額	24 年度概算決定額			(23 年度4次補正追加額)	
		通常分 (A)	復旧・復興 対策分 (B)	合計 (C) =(A)+(B)	4次補正 (D)	(C)+(D)
農林水産予算総額 (対前年度比)	22,712 (—)	21,727 (95.7%)	1,557 (—)	23,284 (102.5%)	1,630 (—)	24,914 (109.7%)
1. 公共事業費 (対前年度比)	5,194 (—)	4,896 (94.3%)	777 (—)	5,673 (109.2%)	0 (—)	5,673 (109.2%)
一般公共事業費 (対前年度比)	5,002 (—)	4,703 (94.0%)	623 (—)	5,327 (106.5%)	0 (—)	5,327 (106.5%)
災害復旧等事業費 (対前年度比)	193 (—)	193 (100.0%)	154 (—)	346 (179.8%)	0 (—)	346 (179.8%)
2. 非公共事業費 (対前年度比)	17,517 (—)	16,831 (96.1%)	780 (—)	17,611 (100.5%)	1,630 (—)	19,241 (109.8%)

注1. 通常分とは、基礎的財政収支対象経費に係る分であり、復旧・復興対策分とは、東日本大震災復興特別会計（仮称）に係る分である。

2. 金額は関係ベース。

3. 計数整理の結果、異動を生じることがある。

4. 計数は、四捨五入のため、端数においては合計とは一致しないものがある。

5. 復旧・復興対策は、一部を除き復興庁に計上。

6. 上記のほか、地域自主戦略交付金、沖繩振興一括交付金（仮称）及び地域再生基盤強化交付金を内閣府に、東日本大震災復興交付金を復興庁に計上。

7. 地域自主戦略交付金及び沖繩振興一括交付金（仮称）（総額314億円）を内閣府に拠出。

2. 公共事業費一覧

(単位：億円)

区 分	23 年度 予算額	24 年度概算決定額		
		通常分 (A)	復旧・復興 対策分 (B)	合計 (C) =(A)+(B)
農業農村整備 (対前年度比)	2,129	2,129 (100.0%)	255 (—)	2,385 (112.0%)
林野公共 (対前年度比)	1,790	1,748 (97.6%)	113 (—)	1,861 (103.9%)
治 山 (対前年度比)	608	575 (94.5%)	44 (—)	618 (101.6%)
森林整備 (対前年度比)	1,182	1,173 (99.3%)	69 (—)	1,242 (105.1%)
水産基盤整備 (対前年度比)	724	690 (95.4%)	250 (—)	940 (129.9%)
海 岸 (対前年度比)	41	39 (96.2%)	0 (—)	39 (96.2%)
農山漁村地域整備 交付金（対前年度比）	318	96 (30.3%)	6 (—)	102 (32.1%)
一般公共事業費計 (対前年度比)	5,002	4,703 (94.0%)	623 (—)	5,327 (106.5%)
災害復旧等 (対前年度比)	193	193 (100.0%)	154 (—)	346 (179.8%)
公共事業費計 (対前年度比)	5,194	4,896 (94.3%)	777 (—)	5,673 (109.2%)

注1. 通常分とは、基礎的財政収支対象経費に係る分であり、復旧・復興対策分とは、東日本大震災復興特別会計（仮称）に係る分である。

2. 金額は関係ベース。

3. 計数整理の結果、異動を生じることがある。

4. 計数は、四捨五入のため、端数においては合計とは一致しないものがある。

5. 復旧・復興対策は、一部を除き復興庁に計上。

6. 上記のほか、地域自主戦略交付金、沖繩振興一括交付金（仮称）及び地域再生基盤強化交付金を内閣府に、東日本大震災復興交付金を復興庁に計上。

7. 地域自主戦略交付金及び沖繩振興一括交付金（仮称）（総額203億円）を内閣府に拠出。

平成 23 年度第 4 次補正予算で農業体質強化基盤整備促進事業が創設されました。

問い合わせ窓口：中国四国農政局 整備部農地整備課 086 - 224 - 9423

農業体質強化基盤整備促進事業の創設 (平成 23 年度第 4 次補正予算 801 億円、平成 24 年度概算決定額 220 億円)

1. 趣 旨

「我が国の食と農林漁業の再生のための基本方針・行動計画」では、農地集積の加速化や農業の高付加価値化等によって、我が国農業の体質を強化することを目指している。

この目標の実現に向けては、農業者が経営規模の拡大や農作物の高付加価値化・品質向上等に取り組む上で支障となる農地の区画狭小・排水不良、農業用水の不足等の農業生産基盤の課題について、迅速かつきめ細かく対応していく必要がある。

2. 事業内容

① きめ細かな基盤整備による農業の体質強化

工 種：農業用排水施設、暗渠排水、土層改良、区画整理、農作業道、農用地保全施設
補助率：50%（離島・中山間地域 55%、沖縄 80%、奄美 60%等）

② 整備済み農地の高度利用を迅速・安価に推進するための定額助成の導入

・区画拡大：10 万円 / 10a（水路の管水路化を伴う場合 20 万円 / 10a）
・暗渠排水（本暗渠管の間隔 10m 以下）：15 万円 / 10a

3. 実施要件

- ① 戦略作物又は地域振興作物を生産する地域であること
- ② 地域の中心となる経営体への農地利用集積に関する方針を有すること（土地利用型農業の場合）
- ③ 1 地区当たりの事業費 200 万円以上、受益者数 2 者以上であること

4. 実施主体等

- ① 事業実施主体
 - ・都道府県
 - ・市町村
 - ・農業者等の組織する団体（土地改良区、農業協同組合等）
- ② 事業実施期間：平成 23 ～ 25 年度

事業の仕組み

農業体質強化基盤整備促進事業（平成 23 年度第 4 次補正予算にて創設）	
対 象 地 域	戦略作物又は地域振興作物を生産する地域
作 成 計 画	整備計画（土地利用型作物の場合は農地利用集積の方針を含む。）
地 区 設 定	<ul style="list-style-type: none"> ・同じ用水系統又は同じ排水系統にある水利施設の受益範囲 ・ブロックローテーションの取組範囲 ・市町村の定める農業振興整備計画の範囲 ・都道府県の定める農業振興地域整備基本方針の地域区分の範囲 等
規 模 要 件	事業費 200 万円以上 / 地区、受益者数 2 者以上 / 地区
対 象 工 種	農業用排水施設・暗渠排水・土層改良・区画整理・農作業道・農用地の保全
事 業 実 施 主 体	都道府県、市町村、農業者団体（土地改良区・農協等）
補 助 率	1 / 2 等、定額
事 業 実 施 期 間	平成 23 ～ 25 年度
補助金交付ルート	国→都道府県 国→団体（市町村、農業者等団体） 国→都道府県→団体（同上）
地 財 措 置	（4 次補正）補正予算債 （24 当初）都道府県：公共事業等債 市町村：一般補助施設整備等事業債

平成 23 年度技術力向上事業実践研修開催

平成 23 年 11 月 4 日 (金) ピュアリティまきび、11 月 15 日 (火) アパホテル倉敷駅前、11 月 17 日 (木) 津山鶴山ホテルにおいて、各県民局単位に標記研修会を開催した。

本研修会は土地改良区の役職員等に対して農業農村整備事業に関する基礎的、専門的知識の習得を図ることにより技術力向上に資するための研修会で、平成 23 年度より新たに創設された事業であり中国四国管内 3 県で実施されている。

研修会には改良区職員、市町村職員など 100 人を超える参加があり、前農林水産省農村振興局長齋藤晴美氏による「我が国の農業農村整備をめぐる動き」や全国土地改良事業団体連合会による「土地改良区の複式簿記について」など県外からの講師を招くと同時に、最近の話題となっている再生可能エネルギーや防災関係などを組み入れた研修を行った。受講者は最後まで熱心に聴講され、アンケートの結果からも多くの方から好評を頂き、今後の業務への活用が期待される有意義な研修となった。



農業農村整備事業地域推進会議を開催 主催：水土里ネット岡山

水土里ネット岡山は、農業農村整備に係る最新情報の提供と意見交換を目的とした農業農村整備事業地域推進会議を開催。11 月 4 日の岡山会場を皮切りに県下 3 会場で、市町村長をはじめ、役場の役職員、改良区の理事長並びに役職員、岡山県の農業農村整備事業関係職員等あわせて 214 名の参加を得た。

会議では、①農業農村整備事業の現状と施策について②平成 24 年度農業農村整備事業概算要求について③第 3

次夢づくりプラン(仮称) 素案について④おかやま基幹土地改良施設緊急対策事業について⑤農山村・棚田地域“農力”再生事業について—の 5 項目に焦点をあて、岡山県農林水産部幹部職員より情報提供が行われた。

その後のフリー討論では、会員から地域農家の実情や事業等に関する要望、質問等があり活気に満ちた会議となった。

平成 23 年度 農業農村整備事業 地域推進会議参加者集計表

開催日	会場	講師	参加内訳				
			市町村	改良区	岡山県	県土連	合計
11 月 4 日 岡山会場 (備前)	ピュア リティ まきび	岡山県農林水産部 参与 小橋 浩二	15	27	16	11	69
11 月 15 日 倉敷会場 (備中)	アパ ホテル 倉敷駅前	岡山県農林水産部 耕地課長 柏原 直樹	11	22	11	10	54
11 月 17 日 津山会場 (美作)	津山 鶴山 ホテル	岡山県農林水産部 農村振興課長 石川 直祐	23	45	9	14	91
合計			49	94	36	35	214

高崎改良区 地域と共に歩んだ土地改良施設を紹介

平成 23 年 11 月 26・27 日の 2 日間行われた地域文化祭「第 1 回 ながさき祭り」において、高崎土地改良区は地域と共に歴史を刻んできた干拓堤防や樋門について広く住民に理解を深めていただくため、開会式に続き、「灘崎まちかど物語／灘崎」と題した冊子を約 500 名の参加者に配布し、北村公茂理事長が先人の築いた干拓の歴史について話した。その中で、平成 18 年に高崎干拓堤防、片崎樋門、奉還樋門が岡山県で三番目の選奨土木遺産に選ばれ、平成 20 年には宮川、常川、片崎の三樋門が県重要文化財に指定されたことを、各々の写真と位置を地図で示しながら参加者に説明した。

又、この地域は水田のパイプライン化も岡山県で最初に取り入れていたことや、地域の発展に土地改良区が共に歩んできたこともわかりやすく説明した。

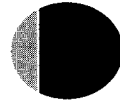
続く 11 月 28・29 日に灘崎中学校より、一年生の社会科の自由研究として、干拓で勉強したいとの要請があり、先生と生徒に重要文化財などの現地説明も行った。





自然と文化のインターフェイスへ
ランデス株式会社

本 社 岡山県真庭市開田 630-1 〒719-3192
TEL 0867-52-1141 FAX 0867-52-3515
ホムアージュ <http://www.landes.co.jp>
本社営業所 0867-52-1021(代) 岡山営業所 086-287-7777(代)
営業所/本社・岡山・山陰・広島・東広島・山口・三次出張所
工場/落合・久米南・高梁・鏡野・西原・倉敷・広島・山口・エクステリア



大和クレス株式会社

本社/〒703-8244 岡山市中区藤原西町2丁目7-34
☎(086) 271-1221 FAX(086) 273-4005
岡山営業所/〒703-8244 岡山市中区藤原西町2丁目7-34
☎(086) 271-1003 FAX(086) 271-1456
津山営業所/〒708-1125 津山市高野本郷1693-10
☎(0868) 26-5155 FAX(0868) 26-5241
長 船 工 場/〒701-4625 瀬戸内市長船町福岡1508
☎(0869) 26-2040 FAX(0869) 26-4409
英 田 工 場/〒701-2623 美作市英田青野75-1
☎(0868) 74-3125 FAX(0868) 74-3126

営業所 大阪・和歌山出張所・兵庫・広島・尾道・山口・四国・松山
工 場 豊栄・河内・兵庫・久万



コンクリート二次製品 製造・販売

水路関連製品 環境保全型製品 ボックス関連製品 道路用製品
擁壁製品 下水道用製品

地域のみなさまに
信頼され愛される企業をめざして

コンクリート2次製品製造販売



岡山コンクリート工業株式会社

本社 〒703-8213 岡山市東区藤井288-1



TEL:086-279-0551

FAX:086-279-2918

<http://www.okacon21.co.jp>

津山工場/TEL:0868-29-0237
〒708-1244 岡山県津山市上村677-1
総社工場/TEL:0866-92-4666
〒719-1142 岡山県総社市栗974
熊山工場/TEL:086-995-2737
〒709-0704 岡山県赤松市沢原795-1



「緑の募金」

ご協力をお願いします

緑の募金でふせごう地球温暖化

募集期間

春のみどりの月間

4月1日～5月31日

秋のみどりの月間

10月1日～10月31日

口座振込はこちらへ

ゆうちょ銀行 01270-0-5225
中国銀行岡山駅前支店 1852041
トマト銀行岡山駅前支店 1027972

公益社団法人 岡山県緑化推進協会
岡山市北区錦町1-8 TEL・FAX (086) 221-9511

毎月10日は岡山の「米の日」です

1日3食をごはんにしてみませんか

「晴れの国おかやま」の温暖な大地で豊かな水と太陽の光を浴びて育ったおいしい岡山米を味わってください。ごはん中心の「日本型食生活」は、健康な体づくりやダイエットにも効果的です。ごはんに魚や野菜などを組み合わせ合わせた栄養バランスのとれた食事を心がけてください。



おいしいよ!岡山米
ごはんぼうや
岡山県米消費拡大推進協議会

岡山県の土地改良 題字:長野士郎書 第557号 平成24年2月10日発行

発行所●岡山県土地改良事業団体連合会 〒700-0824 岡山市北区内山下1丁目3番7号 県土連ビル

☎086-225-0921 fax086-226-0068 e-mail:info@okadoren.or.jp <http://www.okadoren.or.jp>

岡山支所 〒703-8292 岡山市中区中納言町1-6 岡山県土地改良会館 ☎086-273-2110 fax086-272-3937

倉敷支所 〒703-8292 岡山市中区中納言町1-6 岡山県土地改良会館 ☎086-271-3880 fax086-272-3937

津山支所 〒709-4603 津山市中北下1300 津山市久米支所2F ☎0868-57-7661 fax0868-57-7664

印刷所●友野印刷株式会社 ☎(086)255-1101

